

広島市長 秋葉 忠利様

2004年 9月 9日

日本共産党市会議員団

団長 皆川 恵史

幹事長 中森 辰一

中原 ひろみ

村上 あつ子

藤井 とし子

台風18号による被害対策の申し入れ

今年は、度重なる台風の上陸で、全国各地に大変な被害が発生しました。広島でも台風16号に続き18号による、秒速60mもの猛烈な風が、海岸沿いの地域を始めとして、床下浸水、家屋倒壊、道路冠水など、市民生活に大きな被害をもたらしました。

不幸にも、災害に遭われた市民の皆様には、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

市としても被害を未然に防ぐための災害対策本部も設置され、日夜をとわず復旧作業に携わっておられることに敬意を表すると共に、二次災害を防ぎ、一日も早く、平常通りの市民生活を取り戻し、これからの本格的な台風シーズンを前に、再び、同じような被害を繰り返さないために、改めて以下の事を要請します。

記

全市的な対応について

子どもの安全を最優先に、休校判断の統一基準を示す事。

県立高校では「警報」が発令されたら「休校」という方針が生徒に徹底されています。一方、市内の公立小・中・高は各校で休校判断がばらばらであった為、登校させた落合東小学校や白島小学校では授業中の児童が割れたガラスで怪我をするなどの事故が発生しました。台風は午後の時間帯に、広島に接近することはニュースでも報道していたにもかかわらず、児童を登校させた教育委員会の責任は免れません。今後とも再び子ども達が学校で負傷することがないように、台風時に於ける休校判断の全市的な統一基準を示してもらいたい。

迅速、的確な情報提供を

防災本部がホームページを立ち上げられましたが、データの入力が遅いため、「力」を発揮できていません。いざと言う時に役立つ情報提供ができるようにホームページの改善を求めます。

折れた樹木や、散乱ゴミの速やかな収集を急ぐ事。

中区・南区内について

浸水よる土砂の撤去（江波西2丁目8・9・12・13）

街路樹が倒れて歩道や車道の通行が難しくなっているため早期に撤去を

（小網町・日宇那通り）

老朽護岸の早期整備を

- ・ 市の把握している高潮浸水常襲地域と雨水自然排水地域を示されたい
- ・ 特に、常襲地域となっている江波南2丁目三菱江波工場正門部分は早急に整備を。

高潮対策工事の早期整備を

強風時には土嚢でさえ飛ばされてしまい、越波や高潮対策にはならず、土嚢だけに頼るには限界がある。

- ・ 江波西2丁目付近
- ・ 堀越2丁目の的場川沿いの地域
- ・ 仁保地域の猿猴川沿岸地域
- ・ 出島一丁目の元安川沿岸地域
- ・ 出島二丁目韓国フェリーターミナル地域

各地域の公園に植えられている樹木が根こそぎ倒れたり、折れた枝等がフェンスなどに引っかかって、危険な状況です。早期に倒木を撤去し、安全に使用できる公園にすること。

宇品第一公園・宇品第二公園・向洋新町一丁目公園・山城公園・作木公園・広島みなと公園・宇品みなと公園

公共工事の強度の再点検を

・宇品港ターミナルや宇品みなと公園は、オープンしたばかりの施設にしてはあまりにも、大きな被害を受けました。早期の復旧と同時に、原因と問題点を明らかにすること。

- ・ 宇品港ターミナルの外壁の剥離
- ・ 宇品みなと公園の外灯の倒壊
- ・ 広島みなと公園の階段状テラス、
- ・ 吉島西2丁目の護岸の決壊

西区内について

観音新町3丁目入江側の天満川の堤防の角は南からの強い波でいつも洗われる。天満川の堤防は、角手前から入り江にかけてが段々と低くなっているが、むしろ天満川へりより高くして南からの強い波に備えること。

観音新町3丁目の南観音ポンプ場周辺一帯の道路が雨水排水から海水が逆流して冠水した。対策が行うこと。

観音新町4丁目天満側角の堤防崩壊個所の早急な復旧と同時に、すくなくとも3丁目側と同程度の堤防の改善工事を優先して実施すること。

観音新町2丁目16番17番の町内では、災害時の避難のあり方、連絡体制について現状に即して再検討し周知すること。

観音新町2丁目17番27号の睦正夫宅には南側三菱給食センター敷地から海水が流れ落ちるだけでなく、石垣から水が噴出し土砂と共に同住宅に被害を及ぼした。石垣の縁近くが陥没しており、同30番の駐車場の石垣でも水が噴出した。今後、石垣崩壊の可能性も考えられ、宅地造成の問題として所有者に対して、コンクリートのよう壁を構築するなどの指導をすること。

同給食センターの廃油が睦宅に泥水と共に流出して被害を及ぼした。廃油処理がどのように行われていたのか調査を行い必要な対応をとること。

西飛行場の冠水は以前にも発生しており、今回の原因を明らかにして、しっかりした冠水防止対策を早急に行うと共に、飛行場敷地から北側に向けて冠水した水が流れないような措置をとること。

観音新町4丁目の現地では、当面の問題で様々な要望があるのに、被災翌日に役所から誰も来ていないと強い不満があった。人手の問題もあるが、特にまとまって被害を受けている地域であり、翌朝ただちに職員を派遣して状況把握と具体的な要望聴取を行うべき。当面の対応と、今後にも生かすこと。

災害のたびに問題になるが、被災で住居が使えなくなった場合には、緊急に市営住宅を暫定整備して提供するなど、当面の住宅の配慮を行うこと。

観音新町4丁目の住宅地域では、買収するなら早くしてもらいたいとの強い要望があった。

以上